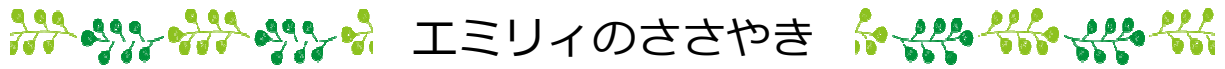


The Whisper from Amherst



エミリーのささやき

産直コーナーに菜花やいちごが並び始めると、春の訪れを実感します。

これは、一読したところ子供っぽい詩に見えるのであまり注目されませんでした。フェミニストの動きが見られるにつれて、とりあげられるようになったようです。確かに、そういう観点で見ると、ただの小さな女の子のため息めいた物の中に、女性としての束縛を感じている詩人の意識が読み取れます。

フェミニズムの起源は18世紀のフランスに遡ります。それから1960年代のアメリカでのウーマン・リブ運動^{*}が世界中に広まるまでの間に、世界各地でどれだけの女性が女性の生き方を模索していたことでしょうか。

※1960年代から1970年代にかけて起きた、女性たちによる女性解放のための運動であり、女性解放を意味する「ウィメンズ・リベレーション」を略したもの。

'Over the Fence'

Over the fence —	塀の向こうで
Strawberries — grow —	苺がなっている
Over the fence —	塀の向こうへ
I could climb — if I tried, I know —	やってみたら よじ登れるってこと 分かっている
Berries are nice!	苺は本当においしそう!
But — if I stained my Apron —	でも もしエプロンを汚したら
God would certainly scold! —	神様は きっとお叱りになる!
Oh, dear, — I guess if He were a Boy —	ああ 私は思う — もし神様が男の子なら
He'd — climb — if He could!	神様だって よじ登られるだろう — もしできるならと!